

Ⅶ 外部支援を受けている教育活動報告

1. 独立行政法人 日本学術振興会 研究成果の社会還元・普及事業

「平成28年度ひらめき☆ときめきサイエンス～ようこそ大学の研究室へ～KAKENHI」

大学院 健康科学研究科

高木 勝広（教授）

事業内容：独立行政法人日本学術振興会 研究成果の社会還元・普及事業

「ひらめき☆ときめきサイエンス～ようこそ大学の研究室へ～KAKENHI」

テーマ：「自分の遺伝子型を調べてみよう～2016～」

実施日：平成28年8月27日（土）

受講生：高校生6名

実施分担者：高木勝広（健康栄養学科 教授）

実施協力者：5名

実施内容：参加者の唾液から遺伝子DNAを取り出して、アルデヒドデヒドロゲナーゼ2・ペクター3アドレナリン受容体・アクチニン3という3種類の遺伝子の中から分析したい遺伝子を選んで、自分の遺伝子型を決めてもらった。

これらの遺伝子の一塩基多型（SNP）は、それぞれアルコールの代謝速度・基礎代謝量・速筋の活性に影響するので、「お酒に強いかわいかな」「基礎代謝が低いか高いか（太りやすいか否か）」・「短距離走者型かどうか」の3種類。

また、研究者による講演「一塩基多型と体質」や各実験室の案内と機器の説明（ラボ探検）も行い、大学の講義や実験室を知ってもらう機会とした。

【当日のスケジュール】

9:30～10:00 受付

10:00～10:20 開校式

（あいさつ・オリエンテーション）

10:20～10:30 科研費と本事業の説明 日本学術振興会

10:30～12:00 実験1（唾液からのDNA抽出、PCR法）

12:00～13:00 昼食・休憩

13:00～13:45 研究者による講演「一塩基多型と体質」

13:45～14:00 昼食・休憩

14:00～15:00 実験2（PCR産物のアガロース電気泳動）とラボ探検

15:00～15:50 クッキータイム、フリートーク

15:50～16:00 修了証書（未来博士号）授与式、アンケート記入

16:00 解散



【受講生に分かりやすく研究成果を伝えるために、また受講生に自ら活発な活動をさせるためにプログラムを留意、工夫した点】

実験を始める前に、参加者が全員、遺伝子やDNAという言葉を知っていたり知っていなかったり、実際にDNAを抽出したり、見たことがないことを確認した。DNAを抽出する実験サンプルとして、参加者自身の唾液を用いた。DNA抽出の原理を説明し、参加者自身の操作で、実際に自身のDNAを抽出してもらうようにした。

試料溶液にエタノールを添加後、転倒混和の際に1回1回の変化をみてもらい、DNAが突然沈殿してくる様子を注意深く観察してもらうように心がけた。DNAが白い糸状の物質として出現してくることで、DNAを物質として認識させるようにした。また講演では、一塩基多型により、太りやすさ・運動特性・アルコールに強いか弱いかなどの体質が決まることを解説し、DNAのもつ情報としての側面について、認識させるようにした。

【今後の発展性、課題】

参加者が実験に親しみを持ってもらえるように、体質に関する「自分自身」の遺伝子解析へと内容を変更して、今年で7年目となった。昨年までは、順調に参加者が集められたが、今年はわずか6名に留まった（直前に3名のキャンセルがあった）。開催時期については、夏休み明け1週間後や、高校の行事などを避けるなど情報を収集して配慮をしたつもりであるが、この点は今後の課題としたい。

2. 長野県地域医療介護総合確保基金事業(介護従事者確保分)補助金

総合経営学部 観光ホスピタリティ学科

尻無浜 博幸（教授）

事業名：キャリア形成訪問指導事業

実施目的：福祉・介護の施設・事業所を巡回・訪問し、介護技術等に関する研修等を行うことにより、職員のキャリアアップや資質の向上及び定着を支援することを目的とした。

講師：2名 1. 矢崎 久（保健医療サービス分野）
2. 尻無浜博幸（介護支援分野・福祉サービス分野）

訪問施設：6箇所（中信地区5箇所、南信地区1箇所） 参加人数合計 163名

報告：介護支援専門員受験対策講座の研修実績

番号	訪問施設・事業所名	研修実施日	参加者数
1	山形村社会福祉協議会	6/24・6/28・7/5	延べ24名
2	創生活環境運営	7/20・7/29・9/26	延べ 9名
3	グレイスフル下諏訪	8/4・8/16・9/6	延べ80名
4	上伊那福祉協会	8/25・9/8	延べ30名
5	いいせ瓦や	10/18・10/25	延べ 7名
6	下諏訪社会福祉協議会	12/10	延べ13名

3. 国際ゾンタ26地区エリア2・松本ゾンタクラブ活動助成事業

総合経営学部 観光ホスピタリティ学科

尻無浜 博幸（教授）

事業内容：松本大学ゴールデンZクラブ活動支援事業

実施目的：世界にあるゴールデンZクラブ活動は、国際的な奉仕事業や福祉・教育事業に興味ある学

生や、専門職などあらゆる分野で活動している学生、将来、地域や国際社会においてリーダーとなり得る学生が活動している。本学でも、松本ゾンタクラブの助成支援を受け、「松本大学ゴールデンZクラブ」の活動を行っている。

登録学生：20名（4年：11名、3年：9名）

活動計画：平成28年6月～平成29年5月

- 6月 新年度体制づくり・予算確定・新メンバー勉強会
信州岩波講座（松本ゾンタクラブ主催）への協力
- 7月 松本ゾンタクラブ合同例会、「地球のステージ」上映会実施
- 8月 安曇野市適応教室、並柳団地子ども支援ボランティア活動
- 10月 「地球のステージ」パネル展
- 11月 東日本大震災災害支援「学習支援」
- 2月 ベトナム障害者支援活動
- 4月 新会員勧誘キャンペーン
- 5月 活動報告書の作成、決算、新年度事業計画 等について

